

N1	は	N2	より	A
				AN
				V

基 本

例 文

- ① 今年ことしの夏なつは、去年きょねんの夏なつより暑あついですね。
- ② A: この神社じんじゃは、人ひとが多くて、にぎやかですね。  
 B: ええ。でも、お正月しょうがつは、今いまよりもっと人ひとが多いですよ。
- ③ A: 体からだの具合ぐあいはどうか。  
 B: 今日きょうは、昨日きのうよりいいです。
- ④ A: 新しいデジタルカメラあたらしいはどうか。  
 B: 撮とった写真しゃしんがモニターみですぐ見みられるので、ふつうのカメラべんりよりずっと便利べんりです。
- ⑤ A: このお寺てらは、さっき見みたお寺てらより古ふるいですか。  
 B: いいえ、さっきのお寺てらのほうが古ふるいです。
- ⑥ 今日きょうはいつもより道みちがすいていたので、早はやく着つきました。
- ⑦ 仏教ぶつぎょうは、キリスト教きりすとぎょうより早はやく日本にほんに伝つたわりました。

A. N1 について N2 との比較で説明するときを使う。(例文①～⑦)

B. 「より」は N2 が比較の基準であることを示す。(例文①～⑦)

C. 文末の A / AN / V には、以下のようなバリエーションがある。

A / AN : N が A / AN (例文②)

V : 状態性の動詞「V ている」(例文⑥)

A < / AN に / 副詞 + V (例文⑦)

D. N1 についてたずねるときは、「N1 はどうですか」や「N1 は A / AN / V か」などを使う。

(例文③～⑤)

### 先生へ

三つ以上のことがらを比較して、その中でいちばん程度が著しい N1 について述べるときは、「N1 は N2 でいちばん A / AN / V」(N2 は N1 の比較対象となる範囲)を使う。

例 冬至は、一年でいちばん昼間の時間が短いです。

「N1 は N2 より N3」(N3 は程度性をもつ名詞) という文型もあるが、ここでは扱わない。

例 田中さんは山田さんより努力家です。

「より」は助詞。

「より...ほう」(p.192) との違いを明らかにするために、N1 が主題であることがよくわかる状況の文で練習したほうがよい。

#### 【関連項目】

文-61 より...ほう

#### 【「れんしゅう編」の練習】

16-1 日本とくらべる

16-7 歌舞伎